令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	312		
事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
	法令・例規等			博物館法
				飯田市美術博物館条例

事業目的		
	対象	飯田市民及び下伊那郡住民
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	・多様化する市民の学びの要求に応えるため、工夫や幅広い対応が求められています。 ・学校教育との更なる連携が求められています。 ・「伊那谷の自然と文化」の研究の基盤を支えた地域の研究者・研究団体は世代交代の時期となっており、人材育成や組織強化に苦慮しているので、協働の場と機会を設けて取り組んでいく必要があります。

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	教育普及活動として、美博まつり、学芸祭など行います。 特に本年は美博開館30周年なので記念講演会を開催します。 自然部門では、自然講座、子ども科学工作教室、地球探検隊、星空観望会、化石標本室ワークショップ、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行います。 人文部門では、文化講座、古文書講座を行います。 美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、子ども美術学校、日本画教室を行います。 藤本四八氏を顕彰し、写真文化を広めるために、子ども写真教室、美博小中高校生写真賞の事業を行います。 市民ギャラリーの運営を行います。 伊那谷研究団体の活動への支援を行います。	専門研究員等賃金	2,324
		自然部門教育普及	1,985
		人文部門教育普及	783
		美術部門教育普及	522
		総合教育普及	1,271
		研究費助成	450
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 計画	令和2年度
	講座等開催数	回	185	105	105	
	講座等参加者のべ人数	回	7,138	5,500	5,500	
	美博まつり参加者数	人	1,988	2,000	1,000	
	市民ギャラリー観覧者数	人	16,410	15,000	15,000	

1年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	7,335	（そ）過疎地域自立促進基金繰入金 1,500千円
	国庫支出金	0	（そ）美術博物館施設使用料 340千円
	県支出金	0	（そ）美術博物館受講者負担金 360千円
	地方債	0	（そ）諸収入 100千円
	その他	2,300	
	一般財源	5,035	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	7,335 0	美術博物館教育普及・活動事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								